



アシナガバチについて



アシナガバチは比較的小となしく、巣を刺激したり直接ハチを触ったりしない限り攻撃してくることはほとんどありません。また、樹木などにつくアオムシ・毛虫などを捕食したりする有益な昆虫です。

巣のできた場所が日常生活に支障のないところであればそのまま放置していても構いませんが、日常生活に支障をきたす場所に巣を作っている場合は以下のことに注意して駆除してください。春先は巣がまだ小さく比較的簡単に駆除することができます。

駆除を行う前にアシナガバチかどうかしっかり確認しましょう。 個人で駆除できない場合は専門業者に依頼（有料）しましょう。

アシナガバチの見分け方

飛んでいるハチを見て種類を特定することは難しいので、巣を見て判断しましょう。

アシナガバチが巣を作りやすい場所

春頃から活動が始まり、軒下や樹木など雨風をしのげる場所に巣を作ります。

巣は1年で使い捨てられます。捨てられた巣に再びハチが住み着くことはありません。

ただし、巣がある場所はハチにとって心地よい場所と考えられますので、毎年新たに巣ができる可能性があります。

春先から注意していれば、巣の小さなうちに発見できます。

※このような場所に巣を作ります
軒下、植え込み、樹木のくぼみ、
天井の中、カーポート、戸袋の中など



アシナガバチの巣の特徴

アシナガバチの巣は灰色（巣の材料によっては白色や茶色）で、シャワーヘッドのような形をしており、下から見ると六角形の穴が多数あいています。



初期のころのアシナガバチの巣



下から見ると六角形の穴がたくさん見える。ハチは巣の外側にくっついている。

アシナガバチの巣の駆除について

用意するもの



❖ハチ駆除用の駆除スプレー（殺虫剤）

※ホームセンターなどで販売しているハチ専用の駆除スプレーを使うと薬液が遠くまで飛ぶので安全です。使用する際は使用上の注意をよく読んでお使いください。

❖服装は**長袖・長ズボン・帽子・手袋・長靴**を着用し、**首にタオル**を巻く。

❖黒っぽいものは攻撃されやすいので、**白っぽい服装**にする。

注意事項

❖香水等は使用しない。（ハチが香りに寄ってきてしまいます。）

❖光に反応するので**ライトなどで巣を照らさない**。

❖死んだハチも針に毒が残っているため素手で触らない。

❖もしハチに刺されてしまった場合は、流水でよく洗い流して氷で冷やし、腫れがひどい場合や気分が悪くなった場合は速やかに医療機関を受診しましょう。

駆除の方法

1. 作業は、ハチが巣に戻っている**日没後 2～3 時間後**に行う。
2. **風上から**駆除スプレーを巣に向けて 5～10 秒程度噴霧し、その場を離れる。
※噴霧するとハチが飛び散りますが、攻撃ではなく薬剤の影響です。殺虫剤が数秒でもかかると攻撃性はほとんどなくなって死にますので、**噴霧を続けてください**。
3. 翌朝、ハチがいないことを確認し、巣を割りばしや棒などで落とす。
4. 落ちたハチや巣の残骸をほうき等で集め、**直接手で触れないようにして**袋に入れる。
袋内にもう一度駆除スプレーを噴霧し、袋を密閉して可燃ゴミとして出す。

ハチに刺されないためには・・・

- ❖巣に**近づかない**。
- ❖巣を**刺激しない**。（つついたり、振動を与えたりしない。）
- ❖洗濯物を取り入れる際は、ハチが付いていないか気をつける。
- ❖樹木の剪定をするときは、ハチの巣がないか確認してから行う。
- ❖家や車の中にハチが入ってきたときは、明るい方角の窓を開けて室内の照明を消し、刺激せずに出ていくのを待つ。



ハチは
明るい方へ
向かう性質が
あります

お問い合わせ 東大阪市保健所 環境薬務課 環境担当

東大阪市岩田町 4-3-22-500 希来里 5 階 TEL:072-960-3804 FAX:072-9 60-3807